

## 越境の説明を はぐくむライティング教育

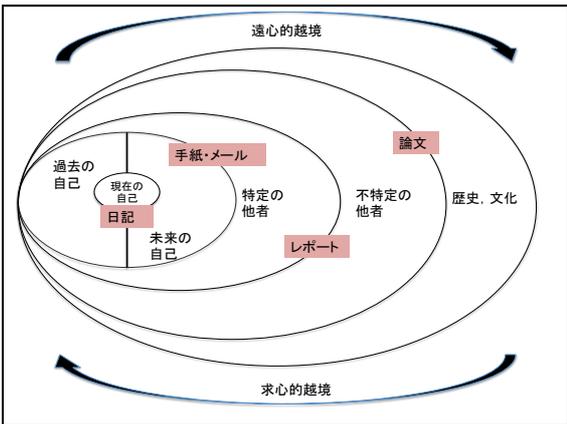
鈴木宏昭  
(青山学院大学)

### 発表要旨

- レポートライティングにはさまざまなレベルの越境が存在する.
- 越境は自己の新たな境界づくり(自己認識と構築)を含む.  
→素朴な直感の活用
- 他者との対話は越境を促す.  
→ピアレビュー

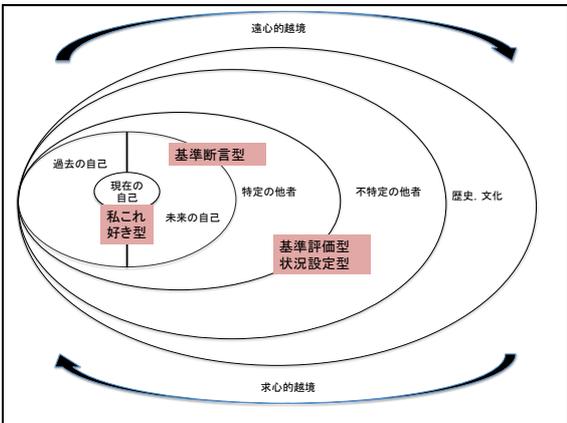
### 「越境」に越境する

- 「越境」?? →「エンゲストロムだっけ？」



### 初年次生のレポートの現状

- 道順レポート:「駅から大学までのもっともよい道」についてのレポート(4月実施)
- レポートのパターン
  - 「私これ好き」型
    - 「私はこれが大好きです。なぜなら・・・」
  - 基準断言型
    - 「これこれの基準で評価する」
  - 基準評価型
    - 「これこれの基準が重要である。なぜなら・・・」
  - 状況設定型:
    - 「誰にとって、いつ一番よいのか」



## 自己との対話を行う

- 越境には境界が必要だ
- 自己の境界は自明であるがゆえに、意識化されない
- Performing selfとreflected selfは統合されていない→つまり他者性を帯びる
- このレベルの対話により、自己の境界作りが始まる。
- 素朴な直感や感情は最初の境界づくりのもととなる